



## 第 2 回日米コンピュータ会議

——発表論文の申込みについて——

本学会と米国 AFIPS の共催による第 2 回日米コンピュータ会議 (2nd USA-Japan Computer Conference) は、下記により開催されます。これにともない、発表論文の募集をおこないます。第 2 回コンピュータ会議を前回にもまして盛会にするため、ふるってお申し込みください。

### 記

1. 開催日：1975 年 8 月 26 日(火)～28 日(木)
  2. 場 所：東京プリンス・ホテル(展示会も、同所でおこないます。)
  3. 予定部門：
    - (1) Mathematical Foundations of Information Processing
    - (2) Numerical Methods and Computations
    - (3) Hardware for Processors, Memory and Peripherals
    - (4) Architecture: Micro, Mini and Maxi
    - (5) Automated Design and Debugging of Hardware and Software
    - (6) Operating Systems
    - (7) Programming Languages and Translators
    - (8) Data Bases and File Management
    - (9) Data-Base Security Techniques
    - (10) Problem-Solving Techniques and Programming Methodology
    - (11) System Performance and Evaluation
    - (12) Simulation and Modeling
    - (13) Pattern Recognition and Image Processing
    - (14) Artificial Intelligence and Its Applications
    - (15) Specialized I/O: Graphics, Speech, Kanji
    - (16) Computer Networks and Data Communications
    - (17) Industrial Applications
    - (18) Small Commercial Systems
    - (19) Banking and Reservation Systems
    - (20) Computers in Health and Medicine
    - (21) Computers in the Instructional Process
    - (22) Computers and the Law
    - (23) Computers in the Arts and Humanities
- (注) 今後、若干変更の可能性があります。また、発表論文数は、日米ほぼ同数 (各40～50 編) の予定です。
4. 運営委員会(日本側)：委員長：川田大介、事務局長：辻岡 健、委員：山本卓真(財務)、後藤英一、山田尚勇(論文)、藤中 恵(設営)、鈴木錠造(展示)、海宝 頭(出版)、稲田伸一(登録)、山本欣子(広報)。
  5. 論文募集要項：

- (1) 内容: オリジナルな研究発表 (Original Paper), または総合報告 (Review Article: 研究動向・技術開発・応用の展望など).  
提出される論文には, 上記種類を明記してください.
- (2) 用語: 論文はすべて英文とし, 発表は日英両国語とします.
- (3) 発表論文: 本論文に, 英文のアブストラクトを付してご提出ください.
  - ・本論文: 英文, 4,000~8,000 words
  - ・アブストラクト: 英文, 150 words 以内いずれも, 1行または2行おきのタイプ打ちをお願いします。(手書きのものはご遠慮ください.)  
なお, ゼロックスなど黑白のコピーを5部添えてご提出ください.
- (4) 締切り: 1974年12月末
- (5) 最終稿: 提出された論文は, 日米両論文委員による審査により採否を決定し, 1975年3月15日前後に, 各自にご通知します. 採用になりました論文は, 1975年5月1日までに, 所定の用紙に書き直してご提出ください.
6. その他: 詳細については, 決定次第本欄にてお知らせいたします.
7. 問合せ・申込み先: 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 (機械振興会館内)  
(社)情報処理学会 日米コンピュータ会議係 Tel. (03)431-2808
8. 案内書: なお第2回日米コンピュータ会議の案内書をご入用の方は, 下記に55円切手を同封の上, お申し込み下さい.  
〒106 東京都港区六本木 7丁目3番23号  
日本コンベンションサービス株式会社  
第2回日米コンピュータ会議 事務局分室 Tel. (03)401-1111

## 関西支部大会開催のお知らせ

情報処理学会関西支部大会を下記のとおり開催いたします。関西方面在住の会員は、ふるってご参加ください。

記

日時 昭和49年10月25日(金) 午前9時30分~午後5時  
会場 日本生命(株)中之島研究所(〒530 大阪市北区常安町29 日本生命中之島ビル内 Tel. (06)443-3131)

### プログラム

- (1) 支部長あいさつ
- (2) 記念講演(1時間)
- (3) 研究発表(50分, 2テーマ)
- (4) パネルディスカッション

「過去5~6年間における企業のコンピュータ利用の推移と今後の方向」

座長: 横山 保(阪大)

## 昭和 49 年 10～11 月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日	時	会場	備考
システム性能評価	10月18日(金)	14:00～17:00	京 都 大 学	前号参照
設計自動化	10月23日(水)	14:00～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
計算機アーキテクチャ	11月5日(火)	14:00～17:00	同 上	下記参照
マン・マシン・システム	11月12日(火)	14:00～17:00	同 上	同 上
データ・ベース	11月14日(木)	14:00～17:00	同 上	次号参照

### ○第3回計算機アーキテクチャ研究会 (主査: 相磯秀夫, 幹事: 所真理雄)

日 時 11月5日(火) 午後2時～5時

会 場 機械振興会館 地下3階研修2号室

〔港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅・都営1号線大門駅・都営6号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋-渋谷線東京タワー・等々力-東京駅八重州口線飯倉1丁目下車, Tel. (03)434-8211〕

議 題 (1) 欧米における計算機の話題—IFIP Congress 74 を中心に—

相磯秀夫, 所真理雄 (慶大)

〔概要〕 IFIP Congress 74, 1974 Fall CCMPCON, Micro-7 などの学会活動を中心に欧米で話題になっている計算機について報告する。

(2) マイクロ・プログラムによる LISP マシンの実験

島田俊夫 (電総研), 山口喜教, 坂村健 (慶大)

〔概要〕 最近の人工知能用 LISP の制御構造を取り入れたマイクロプログラムによる LISP マシンの実験について報告する。

### ○第7回マン・マシン・システム研究会 (主査: 大須賀節雄, 代表幹事: 飯田善久)

日 時 11月12日(火) 午後2時～5時

場 所 機械振興会館 6階65号室 (所在地は上記参照)

議 題 (1) ELISP の拡張について 古川康一, 長谷川洋 (電総研)

〔概要〕 ELISP に新たにつけ加えられたファイル処理機能, チェック・ポイント, リスタート機能, スワップ機能および新たな入出力装置のサポート, FORTRAN との, より緊密な結合方式などについて述べる。

(2) 会話実行型 FORTRAN (CFO) の概要と評価

田中 清, 福島 脩, 松本匡通, 奥瀬尚位 (横須賀通研)

〔概要〕 CFO の設計に際して考慮した事柄及び完成後の性能並びにマン・マシン・システムとしての有効性の評価について述べる。

## 創立 15 周年記念第 15 回大会の参加について

本年度の情報処理学会大会は、学会発足 15 周年を記念して、国立京都国際会議場で、12 月 5 日（木）、6 日（金）の両日に開催することになりました。（既報）

従来、大会はすべて東京のみで開催してまいりましたが、今回は開西支部のご援助によりまして、はじめて京都でしかもこの記念すべき行事の開催が可能となったわけです。奮ってご参加なさいませう御案内いたしますとともに、大会運営については、特に下記の点についてご留意のうえ、ご協力くださるよう御願いたします。

### 記

1. 参加費 会 員 500 円  
非会員 1,000 円

2. 論文集の頒価と予約について

論文集の頒価を予約（3,500 円）と当日即売（4,500 円）に区別いたしました。論文集を東京から京都の会場まで搬送すること等をも考慮にいれ、予約に重点をおき、予測部数はかなりきびしく制限して印刷することとなりましたから、割引になっている予約制度を是非利用してください。

3. 予約の方法

11 月 10 日までに、本号添付の所定の申込み券に、必要事項を明記し代金を添えてお申込みの方に、現品を確保いたします。（期日後の申込みには、本会としては責任を負いかねます。）

論文集代金は、会計処理上切手では非常に困りますから、現金又は為替でお願いいたします。（なお、振替送金および銀行送金は、事務取扱上行き違いを生じ易く、事故発生の恐れがありますので、お取扱いいたしませんから、ご承知おきください。）

4. 現品引換について

予約者には、直に引換券を送付いたしますので、大会当日、会場受付にて、現品とお引換えください。（期日以前にはお渡しできません。）

5. その他

- 1) 予約者以外にも残部のある場合には、会場にて即売いたします。（価格 @4,500 円）
- 2) 大会に参加されず論文集のみを希望される方も、予約制度を利用してください。（郵送希望の場合には、送料 300 円を追加のうえ（3,500 円+300 円=3,800 円）納入のこと。）
- 3) 予約せず大会後に論文集を希望される方は、上記 1) に準じます。（郵送の場合には、送料 300 円を追加のうえ（4,500 円+300 円=4,800 円）納入のこと。）